

# 取り扱い説明書

**DAYTONA**<sup>®</sup>

61825①/④

\*ご使用前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使い下さい。

\*この取り扱い説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管して下さい。

\*この商品を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取り扱い説明書も併せてお渡し下さい。

## ブレーキエア抜きセット

適応車種

商品 NO.

ユニバーサル

61825

この度はデイトナ「ブレーキエア抜きセット」をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。ご使用前には必ずこの取り扱い説明書をよくお読み下さい。また、ご使用前に必ず商品の内容をお確かめ下さい。

なお、万一お気づきの点がございましたら、お買い求めの販売店にご相談ください。

### 〈特徴〉

- マスターシリンダー・キャリパーのメンテナンス時に、ブレーキフルードのエア抜きをきれいに効率よくするためのベーシックセット

### 〈商品内容〉

No.	パーツ名	サイズ(mm)	数量
①	ポリ製キャッチタンク	800mL	1
②	めがねレンチ	8×10mm	1
③	ホース	φ5×8×800mm	1
④	ホースジョイント		1
⑤	ホースクリップ		2

### ⚠注意

- ・ 作業に入る前に必ず安全を確保した上で作業を行って下さい。
- ・ 作業方法は車輛のサービスマニュアルに従い確実に行ってください。
- ・ ブレーキのエア抜き作業は、整備士等の有資格者が行ってください。
- ・ 作業は確実に行って下さい。また、走行中にネジ部等が緩まないよう、トルクレンチを使って所定トルクで確実に締め付けて下さい。
- ・ 塗装を傷めますので、塗装面にブレーキフルードがかからない様に作業してください。万一かかった場合は、直ちに清水にて十分洗い流してください。キャリパー、フロントフォーク等も同様です。
- ・ ブレーキフルードは注ぎ足しせず完全に交換してください。
- ・ DOT4、DOT5を混合使用しないで下さい。シリコン系とグリコール系フルードの混合使用も絶対にしないで下さい。
- ・ マスターシリンダー部にゴミが入らないように注意してください。
- ・ この商品は、予告無しに価格や仕様の変更をすることがあります。予め御了承下さい。

### ⚠警告

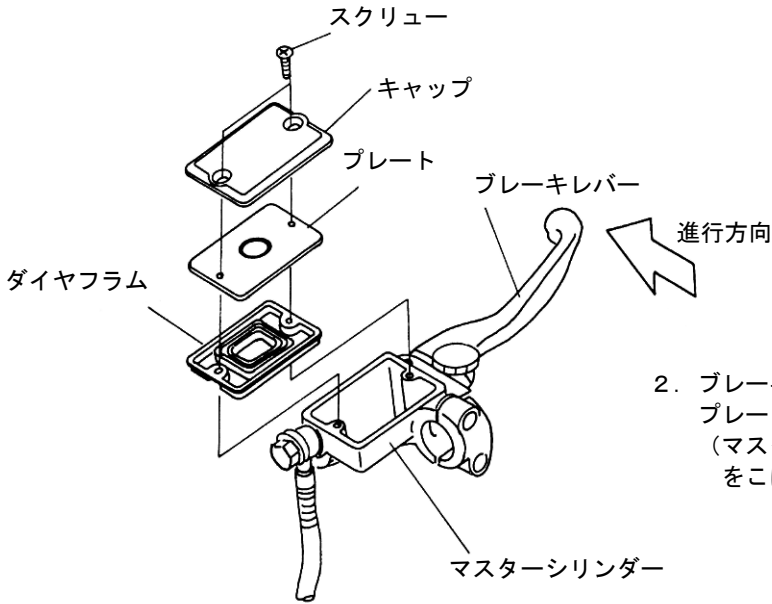
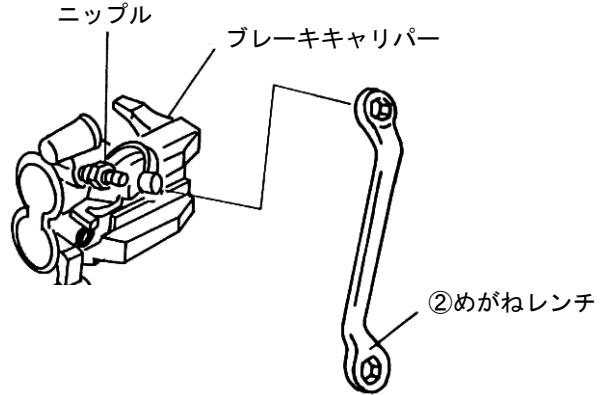
- ・ 走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所を点検して下さい。
- ・ エンジン、およびマフラーは走行直後、熱くなります。やけどの恐れがありますので冷えてから作業して下さい。

## ■ 使用方法 ■

### <ブレーキフルードの交換>

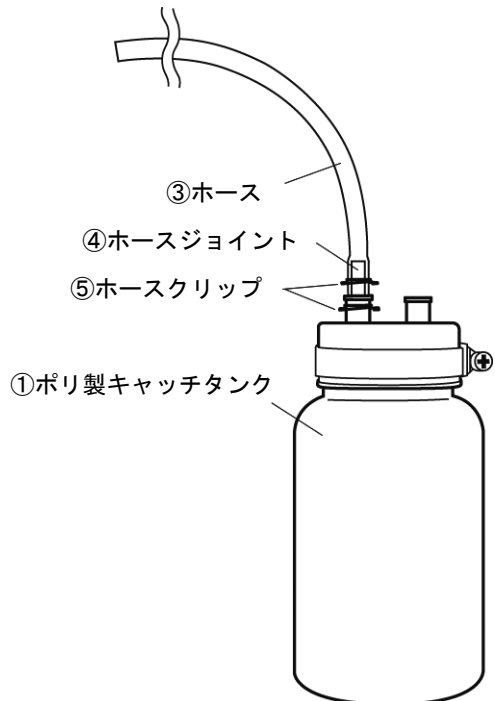
1. ブレーキフルードのニップルにめがねレンチを取り付けます。  
(キャリパー部にフルードがかからない様にウエス等を巻くことをお勧めします。)

ブレーキキャリパーのニップルに③ホースを差し込みます。

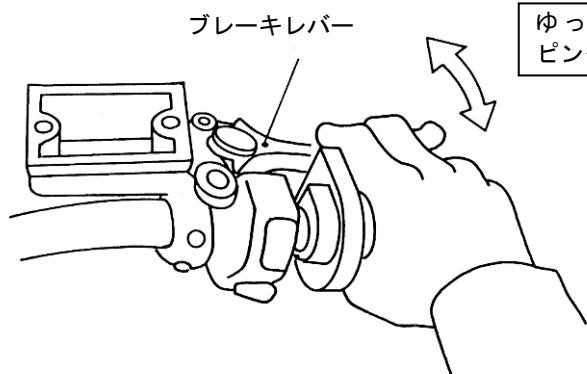
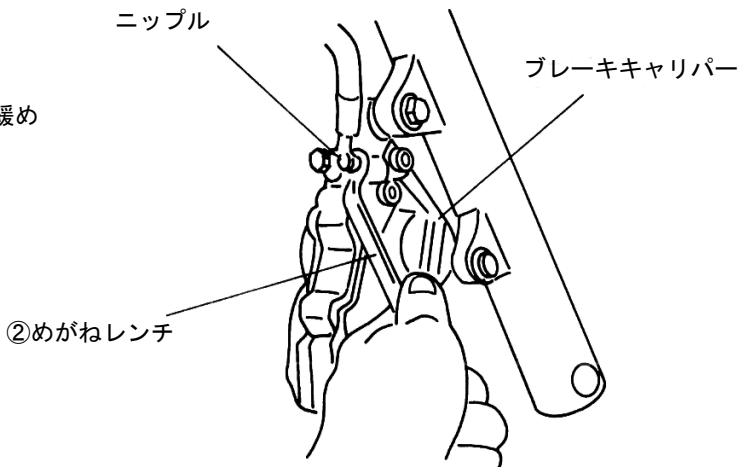


2. ブレーキマスターシリンダーからキャップ、プレート、ダイヤフラムを取り外します。  
(マスターシリンダーよりブレーキフルードをこぼさない様に注意してください。)

3. ①ポリ製キャッチタンクに③ホースを右図の様に接続します。



4. ブレーキキャリパーのニップルを軽く緩め  
ブレーキレバーを軽くポンピングして  
ブレーキフルードを送ります。



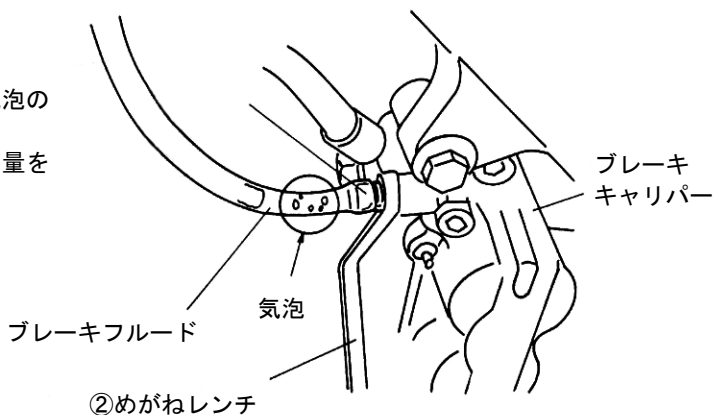
5. ①ポリ製キャッチタンクにブレーキフルードが溜まりだしたらマスターシリンダーに新しいブレーキフルードを足していきます。  
(空気が入り込まない様、マスターシリンダー内のブレーキフルードを完全に抜ききらないで下さい)

### ⚠注意

(マスターシリンダー部よりブレーキフルードが漏れる恐れがあります。塗装面、ブレーキ廻り等に付着した場合には、清水で直ちに洗い流してください。)

6. ブレーキキャリパーのニップルから出る気泡の有無を確認します。  
マスターシリンダーのブレーキフルードの量を確認しながら

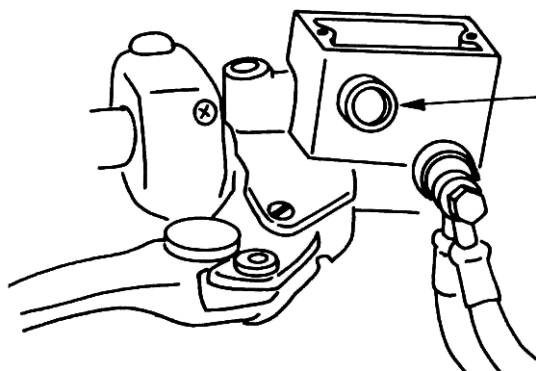
ニップルの締め込み  
↓  
ブレーキレバーポンピング  
↓  
ニップルを緩めエア抜き



といった作業を繰り返し、エア抜きをしてください。  
(ブレーキフルードを補充しながらエア抜きを行ってください)

7. ブレーキレバーを握った感覚で最終的な判断をします。  
(ブレーキキャリパーのニップル、③ホースの隙間からエアを吸う場合があるため注意してください。)

8. ブレーキキャリパーのニップルをサービスマニュアルの規定トルクで締め込み、③ホースを取り外します。マスターシリンダー内のブレーキフルード量を規定量に合わせて、2. で外した部品を組み付け、ブレーキの効き具合を確認して作業は終了です。  
 (ブレーキレバーに柔らかい感じがあるようでしたら、再度、ブレーキキャリパーのニップルよりエア抜きを行ってください。)



ブレーキフルードの量を規定にあわせませす。

<新しいブレーキホース、キャリパー、マスターシリンダーに交換する場合には  
 3. の作業の次にブレーキフルードを注入して同様に作業を進めます。>

### ⚠注意

ブレーキフルードでツール箱等の塗装を傷める恐れがあります。ブレーキエア抜きSET使用後は各部品を清水にて十分洗い流してください。抜いたブレーキフルードは、法令に従い、適切に処理してください。

商標 JASDAQ 上場

株式会社 **デイトナ**

〒437-0226 静岡県周智郡森町一宮 4805

\*この用紙は再生紙を使用しております。

©デイトナ商品についてのご質問、ご意見は、「フリーダイヤルお客様相談窓口」0120-60-4955までお願い致します。